

山北通信【令和8年9月14日】

「振り返り」の力を高める（6年3組）

現在の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」ができるようになることが求められています。本校では、こどもたちが主体的に学ぶ授業を中心に、研究に取り組んでいます。主体的に学ぶためには、こどもたちを信じて学びを委ねることが必要です。その分、こどもたちには、学習を自分で調整する力が必要になります。自分で学習することができているのか、また、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何が見についたか」「何ができるようになるか」という視点も必要になります。

このような力や視点が求められている中、本日、各教室の授業を見て回っていると、6年3組で「振り返り」の力を高める授業が行われていました。担任に内容を確認したところ、「何を書いたらいいのかをもっとこどもたちに考えさせたい、内容を含めてレベルアップを図りたい。」とのことでした。

「振り返り」の力、さらには「主体的・対話的で深い学び」は一朝一夕では充実したものではありません。日々の地道な取組の積み重ねに期待しています。



少しずつですが、校内が美しくなっています！

4月当初は、校内に食べた後のお菓子の袋や空のペットボトルが落ちていることがありましたが、最近はあまり見かけなくなりました（ゼロではありませんが・・・）。

また、廊下や階段も、依然とくらべて美しくそうじがされているように思います。

私（校長）が赴任して感じたのは、廊下や階段の掃除が、思ったよりうまくできないことです。こどもたちは、毎日丁寧に掃除をしています。丁寧に掃いたつもりでも、砂やほこりが残りやすいつくりになっているように感じます。このような中、こどもたちの頑張りは、本当に素晴らしいです。

さて、本日、4月から気になっていた本館の児童玄関の天井を、複数の教員で拭き掃除をしました。天井には、泥の手形やボールが当たった後が残っていましたが、できる限り汚れを落としました。作業をしている時に、たくさんのこどもが、「ありがとう」「お疲れ様」「気をつけて」と言ってくれました。これからも、こどもたちと、少しでも美しい状態を保っていきたいと考えています。